

地域医療の話聞いて

西脇中学校 三年 古藤 綾和

本物のお医者さんに西脇の医療の話聞いたのはとても貴重な体験だったと思います。自分達の住んでいる西脇が医療崩壊になっていたという話を聞いて衝撃的でした。なぜなら私は風邪をひいた時、体調が悪くなった時には当たり前のように病院に行きます。その当たり前が昔は当たり前ではなかったと考えたら、私達は本当に恵まれている環境で暮らせていると思います。西脇のお母さん方が起こした行動は本当にすばらしいことだと思います。地域医療を守る会がなかったら今頃西脇病院はなかったかもしれませぬ。だから本当に地域医療を守る会を作った方々、お母さん方には感謝しかないです。

お医者さんがお医者さんをしていて嬉しいことは、患者さんに喜んでもらうことだとおっしゃっていました。私は普段病院に行った時に「ありがとうございます」ありがとうございました「失礼しました」などしつかり言えているかな？と思いました。今、自分の行動を思い返してみると「ありがとうございます」などしつかり言えてなかったと思います。「ありがとうございます」という一言を言っただけで、私もいい気持ちになると思うし、お医者さんもいい気持ちになれると思うので、これからはしつかり言えるようになりたいです。

こうして西脇に住んでいて、当たり前前に学校に通って体調が悪くなったら近いところに病院があり、たくさんのお医者さんがいて、当たり前前のように診てもらえることに感謝しながらこれから生活をしていきたいと思いました。

今日はお忙しい中私達のために時間を作っていただきありがとうございます。

地域医療の話聞いて

西脇中学校 三年 関藤 明以

私は、西脇で医療崩壊が起こっていたなんて知りませんでした。でもその医療崩壊を救ったのは西脇市民だということも知れて、本当に奇跡のような話だなと思いました。

西脇の医療崩壊に限らず、もし私の周りで困ったことが起きたら私は何か動くことができるのかなと考えてみました。今の私は少し自信がないです。でも私一人だけではなくて、何人かだったら動くことができる気がします。なので私はその大勢の中で一番に動ける人になろうと思います。

今日、地域医療の話聞かせていただいて、西脇に対する思いが少し変わった気がします。今までは病院に行ってもあまり深く考えていなかったけど、病院に行ったら診てくださるお医者さんがいるのは本当にすごいことだし、感謝しないとイケないなと思いました。また西脇のために私も動きたいと思ったし、西脇がもっと好きになりました。だからボランティアなどにも積極的に取り組んでいきたいです。

今日は西脇について深く考える良い機会になりました。

私はこの西脇病院について話を聞くのは二回目です。一回目は、二年生の時トライやるウィークで西脇病院に行かせて頂いた時にこの話を聞きました。西脇に十年以上住んでいながらも、この話を初めて聞いた時は本当にびっくりしました。お母さんがいなかったら、私は今健康に暮らすことが出来ていなかったと思います。また、クラスみんなが一人も欠けることなく毎日顔を合わせることも出来ていなかったと思います。

私は小学一年生の時から看護師になりたいという夢がありました。看護師も医者と同様に、労働時間が長かったり人手不足もあつたと思います。昔は看護師は女の人がやっていたと聞いたことがあるので、女の人が長時間働くことはとても大変だと思いました。今回の話は小児科についての話でしたが、他の科でも人手不足が進んでいるところもあると思います。

また西脇は近年少子高齢化が進んでおり、子どもが生まれる確率が減っていると思います。高齢者を守ることもとても大事だと思いますが、小さな子どもの命を守るのもとても大切なことだと思いました。子どもの命は小さいように思われますが、今後の未来を考えていくと子どもの命はとても大きなもので、誰にとっても大切な存在だと思っています。それを一番わかっているのは、自分達を産んでくれたお母さんだと思います。だからこそ、署名活動などは説得力のあるものだと思います。私も将来、子どもの命から高齢者の命まで救える看護師になりたいと思いますし、一人の人間としてこれらのことをしっかりと受け止め、色んな人を知ってもらえるようにしたいです。

また私の父は消防士で、実際に救急車をタクシーのように、誰よりも早く治療してほしいから救急車を使ったりなど色々話を聞きます。このようなこともなくせるように、自分から活動していきたいです。

地域医療の話聞いて

西脇南中学校 三年 杉本 萌音

今回地域医療の講演をしていただいて、西脇市民の温かさを感じる事ができました。その反面、お医者さんも医師不足で毎日休まずに私たちのためにお仕事をしてくださっているのに、自分のことしか考えずに「コンビニ受診」という形で病院を訪れてしまっていた私たちはすごく情けなかったと感じました。

でも、西脇市民にとって小児科はとても大切な存在なだけあり、小児科を守ろうと「小児医療を守る会」の皆さんが努力してくださったおかげで、今の私たちは健康で何の不便もなく生活できているのだと感じ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。医師と市民のどちらかの思いが一方通行になるのではなく、相手のことを思いやることで、より素敵な西脇市になると思います。

私の将来の夢は、医療に関わる仕事に就くことです。今のよう、温かい西脇がこの先もずっと続いて行ってほしいし、私もこの先大好きな西脇市に貢献できる活動をしたいです。

今日は本当にありがとうございました。

地域医療の話聞いて

西脇南中学校 三年 矢上 真衣

私たちが普通に暮らしている西脇で地域医療崩壊が起きていたとは全く知りませんでした。もしかしたらこれからもありえるかもしれない医療崩壊では、国や市だけでなく市民たちにも責任があるんだということがわかりました。自分が働いていて二日ずっと家に帰れず家族に会えなかつたらどれだけ大変でしんどいのか想像したら、そんな職場で働くのは嫌だと思ってしまう。

しかしそんな状況でも「自分は西脇のために残るんだ！」という熱い意志を持たれたお医者さんが、この西脇におられることが誇りであり、感謝でしかありません。

私自身、ちよつとしたことで病院に行ったほうがいいかなと心配になることがよくありました。そんな軽い気持ちがお医者さんの勤務を大変にしていたのをいたく知れました。

これからは自分の考えを変えていき、ちよつとしたことでコンビニみたい到医院を扱わないようにしていきたいと思います。そして西脇がまた同じ状況に陥らないように、今度は私たちが地域医療を支えていける存在になっていきたいです。

地域医療の話聞いて

黒田庄中学校 三年 岡本 美音

私は、西脇病院が医療崩壊をしかけていたことを、今日初めて知りました。そしてその危機になったとき、西脇市の住民が立ち上がって、小児科を再開出来るようになったことを知ってびっくりしました。私のおばあちゃんが西脇病院でお世話になっていたので、よく西脇病院には行っていました。そんな西脇病院がもしくなくなったら、西脇市民の人も不安だし、市がつぶれてしまいます。今、西脇市はとても暮らしやすい町だと思います。そして私は西脇が好きです。でもいつ医師の人数が減って、同じようなことが起こるかわからないから、そういったことがあったら、私達の町だから自分達が立ち上がって、よりよい誰もが安心して暮らせる地域医療、地域社会をつくっていかねばならないと思います。西脇病院は私達にとって「宝」だし、西脇市で大切にしているかなくてはならないと思います。そして自分達の町は自分達で守っていくこと、そういう社会をつくっていくことを大切にしていかなければいけないと思います。

今日の話で、たくさん考えたり、たくさん気づかされました。本当にありがとうございます。